

重森三玲 みづのり 作庭家、庭園史家、花道研究者。明治二十九年八月二十日岡山縣上房郡賀陽生れ、昭和五十年二月十一日没（八六一—一九七五）。本名計夫。日本美術學校卒。東福寺木坊等百數十を作庭した他、近代活花理論の確立、実践の蓄りた。また茶道にも造詣深く、著書百二十餘に及ぶ。

□古都白庭（觀賞篇）□（昭和十七年四月—二十五年大阪・京阪電気鐵道株式會社「趣味の京阪叢書」）、□京都白庭（略史篇）□（昭和十七年五月—二十日大阪・京阪電気鐵道株式會社「趣味の京阪叢書」）、□日本庭園歴史□（昭和十八年六月—二十五年京都・晃文社）、□枯山水□（昭和二十一年十一月—二十五年京都・大八洲出版株式會社「古文化叢刊」）、□刻々是好刻□（昭和四十九年四月—二十五年新潟・北越出版、まこと・文・ら書房発売）等。